

e スポーツで熱いバトル!

e スポーツフェスティバル in 益城

3月23日、e スポーツフェスティバル in 益城が交流情報センターミナテラスで開催されました。

対戦型パズルゲーム「ぷよぷよ」を用いて行われたこのイベントは、基本的なルールを学ぶ「ぷよスク」、参加者同士での練習試合「ぷよチャレ」、トーナメント形式の試合により大会の雰囲気を楽しむ「ぷよバト」と段階を踏むことで、初心者でも楽しめるものとなっていました。

「ぷよバト」では、大型スクリーンで試合を観戦することができ、勝敗が決するたびに会場が沸いていました。



⑤優勝してガッツポーズ ⑥親子で楽しめる体験ブースも設置



参加者の前で大甲国民小との交流などについて発表する石川さん

台湾と益城をつなぐ「大甲の聖人」

志賀哲太郎没後百年記念顕彰祭

明治時代に台湾に渡り子どもたちの教育に身をささげ、大甲区で「大甲の聖人」として語り継がれる志賀哲太郎。没後百年記念顕彰祭が3月30日に開催され、顕彰会会員や地区住民など約40人が参加しました。

3月12日に台湾の大甲国民小学校とオンラインで交流した津森小児童を代表し、顕彰祭に参加した石川慧^{いしかわけい}さんは、「津森の文化や歴史、素晴らしいところ、志賀哲太郎先生のこと調べ、自信をもって大甲の子どもたちに伝えていけるようにしたいです」と話しました。

球児たちがプロの技を学ぶ

第1回火の国サラマンダーズ益城町学童野球教室

3月31日、第1回火の国サラマンダーズ益城町学童野球教室が広安小グラウンドで開催されました。

九州アジアリーグで活躍するプロ野球球団「火の国サラマンダーズ」の選手13人が、町の学童野球チーム「広安野球クラブ」、「益城中央野球クラブ」、「広西野球クラブ」、「飯野モンスターズ」の部員71人に指導しました。

3時間にわたり、守備やピッチング、バッティング、走塁などの技術指導が丁寧に行われ、子どもたちはプロの技術を吸収しようと熱心に練習に取り組みました。



1 バッティング指導 2 走塁指導 3 「元気よく声を出すぞ!」

Pickup Plus+
今月のプラス



3月22日、KDSグループ(菊池自動車学校・熊本ドライビングスクール)から、町内の小学校に入学する新1年生に「ゆるや傘」400本が贈呈されました。同グループの永田佳子代表取締役は、「雨の日にこの傘を差した児童を見かけたら、いつも以上に思いやり運転を心掛けてほしい」と話しました。